

タイトル：

睡眠薬を服用中の患者の不満に着目した取組み～アテネ不眠尺度の質問事項の活用～

発表者：

○本田 雅志¹、本柳 達也²、岡村 勝敬³、白井 秀徳¹、修行 孝典⁴

¹総合メディカル株式会社 そうごう薬局 高田店

²株式会社あおば調剤薬局

³総合メディカル株式会社 そうごう薬局 大原店

⁴総合メディカル株式会社

本文：

【目的】

睡眠薬は多くの方が利用している一般的な薬剤である。しかしながら、服用患者に対応をしている中で、自分の睡眠に十分満足していないと訴える患者を多く見かける。また、そのような患者では医師と上手にコミュニケーションを取れていない印象を受ける。そこで今回、睡眠薬を服用中の患者について、睡眠・睡眠薬の満足度、医師との相談状況を現状調査し、問題点を検討した。

【方法】

来局患者のうち、アンケートに回答した 106 名について、以下の内容を調査・解析した。

- 1) 服用中の睡眠薬の種類とその満足度
- 2) 医師への相談状況
- 3) 睡眠状況の確認（入眠障害、中途覚醒、早朝覚醒）

睡眠状況の確認の質問項目として、睡眠障害の判定に用いられるアテネ不眠尺度を使用した。

また、服用薬の満足度について、医師への相談状況や不眠の種類との関連性について解析した。

【結果】

服薬中の睡眠薬に十分満足していない患者は回答者の 55 名おり、うち半数しか医師に相談していなかったが、薬剤師を介して相談した事例は極少数であった。また、服用薬に満足していない患者のなかには処方された睡眠薬と訴えている不眠の種類が異なる患者がいることもわかった。

【考察】

薬局薬剤師は通常の対応では処方された薬剤への効果・副作用の確認を中心に尋ねることが多く、不眠の種類など、詳しい睡眠状況把握まで至らないこともある。今回のように睡眠薬への満足度の確認に加えて睡眠への不満を詳しく把握することで、より正確な判断をすることが出来ると考えられる。このような情報を必要に応じて医師などと共有するとともに、患者が医師へ更に相談しやすいよう薬剤師が架け橋となるように努めることで、今後の患者の睡眠の質向上に貢献していきたい。